

生活科 学習指導案

藤井寺市立 道明寺東小学校
指導者 佐伯 暁洋

1. 日 時 令和7年9月26日(金)第5時限(13:45~14:30)
2. 場 所 第2学年2組教室
3. 学年・組 第2学年2組(19名)
4. 単元名 『もっと なかよし まちたんけん』(東京書籍)
5. 単元の目標

【知識・技能】

・地域に関わる活動を通して、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かる。

【思考力・判断力・表現力等】

・地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができる。

【学びに向かう力・人間性等】

・地域に関わる活動を通して、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。

6. 単元の評価規準

【知識・技能】

・地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。

【思考・判断・表現】

・地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人々と自分たちの生活との関わりを見つけている。

【主体的に学習に取り組む態度】

・地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

7. 単元で取り上げる言語活動

- ・インタビューする際には順序よく質問し、相手に分かりやすく伝える。
- ・大切な言葉などは、後で見えて思い出せるようにメモを取る。
- ・自分が聞きたいことをしっかり聞く。

8. 教材観

本単元は、小学校学習指導要領生活の内容(3)「地域と生活」に位置づけられる。地域と関わる活動「まちたんけん」を通して、地域の場所やそこで生活している人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人と場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりできるようにすることをねらっている。1学期の単元「どきどきわくわくまちたんけん」につながる単元であり、再度、まちたんけんに出かけ、地域のお店やそこで働く人々と関わる活動を中心に進めていく。地域の人々と関わる中で、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることに気付かせ、地域の良さや自分たちが生活している人や場所への愛着をもつことをねらいとしている。また、学習活動を通して、地域の人々と適切に接したり、地域で安全に楽しく生活したりしようとする態度を育てることもねらいの一つである。

9. 児童観

本学級の児童は、登下校の通学路などで地域の人々やお店や施設などを目にしている。しかし、建物の中に入ることはあまりないため、校区内には様々な場所があり、地域のために働いている人たちがたくさんいることに気付いている児童は少ない。1学期の学習では、児童の一人ひとりのお気に入りの場所を紹介し合い、その後、全員でまちたんけんを行った。初めての場所に行ったり、お気に入りのお店を見つけたりすることができた。夏休みには、家族と校区の場所に一緒に出かけた児童もいる。

10. 指導観

単元の導入では、1学期の振り返りをしながら、「インタビューに行きたいお店や場所」を児童自身に選ばせる。「通っていた保育園の先生に会いたい」や「クレープのメニューを知りたい」など、それぞれの思いで選んだ。1回目の探検では「聞きたいこと」を一人ひとり考え、お店や施設等に関わる人とやり取りをして、「自分で出来た!」を体験させたいと考える。その後、発見カードを使いながら、友だちに伝える活動を行う。友だちからの質問に十分に答えられなかったり、お店や施設等のよさを上手く伝えられなかったりすることが考えられる。そこで、「もう一度、インタビューにいかねば!」と奮起してほしいと思う。売り上げのための工夫、安全のための工夫、人とのつながりを考えた工夫などを「お店のひみつ」として探ってほしいと思う。活動のすべてで、「自分で!」「～したい!」と取り組みながら、チャレンジを継続してほしい。

本時は、2回目のインタビューに向けて、「もっと知りたいこと」を考える活動である。友だちの考えを取り入れたり、一緒に練り上げたりして、次時の「まちたんけん」への意欲を高めていくと考える。

11. 単元の指導と評価の計画(全13時間)

次	時間	学習活動	評価規準と評価方法		
			知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
第1次	2	①探検に行きたい場所や話したい人、聞きたいことなどについて話し合い、探検先ごとのグループをつくる。 ②グループごとに探検の計画を立てて、計画書に記入する。(探検場所、聞きたいこと、探検のルールやマナーなど) 【図書館活用】 インタビューの仕方について図書資料等で調べる。		①②1回目のまち探検のことを思い起こしながら、行き先や調べたいことをきめている。 (発言、行動観察、ワークシート)	①②地域の場所や人について、もっと知りたいという思いをもち、探検の計画を立てようとしている。 (発言、行動観察、ワークシート)
第2次	3	③④グループごとに探検に行く。 ⑤探検活動を振り返り、気付いたことや学んだことをお気に入りカードにかいて、グループで交流する。【言語活動】	③～⑤地域には働く人や生活している人がいることに気付いている。(発言、行動観察、ワークシート)	③④(習慣や技能)地域の人と接する際、相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いをしている。(発言、行動観察)	③④1回目のまち探検と比較しながら、地域の人に質問したり話したりしている。(発言、行動観察、ワークシート)

	2	⑥全体場で探検場所のひみつを紹介し合う。 【言語活動】 ⑦グループごとに、次の探検の計画を立てる。 ・探検の内容を検討し、計画を見直して、探検の準備をする。 (本時)	⑥地域にはさまざまな工夫をしながら、働いたり生活したりしている人がいることに気付いている。 (発言、行動観察)	⑥友だちの見つけたことと自分の見つけたことを関連付けながら、地域のことを話し合っている。(発言、行動観察)	⑦探検で分からなかったことを調べたいという思いをもち、もう一度探検に行こうとしている。(発言、行動観察)
	3	⑧⑨グループごとに探検に行く。 ⑩インタビューして分かったことをまとめる。 【言語活動】	⑧⑨探検で関わった地域の人の、地域に寄せる思いに気付いている。(発言、行動観察、ワークシート)	⑧⑨地域で働いたり生活したりしている人の思いを意識しながら、調べたいことについて質問している。(発言、行動観察)	
第3次	3	⑪⑫探検で分かったことを、グループで新聞に整理してまとめる。 【言語活動】 ⑬「ひがしっ子のお気に入り」発表会をする。 【言語活動】	⑪～⑬地域には自分たちの暮らしを支えたり、楽しくしたりしてくれている人々がたくさんいることに気付いている。(発言、行動観察)	⑬自分や友だちが関わった人々の地域に寄せる思いを関連付けながら、地域の人々のよさについて伝え合っている。(発言、行動観察)	⑪～⑬地域の場所や人々のよさを実感し、それらに親しみや愛着をもって大切にしようとしている。 (発言、行動観察、作品)

12. 本時の展開

(1) 本時の目標

地域で働く人々の工夫や願いをより深く知るために探検の計画を立てることができる。【主】

(2) 本時の評価規準

探検で分からなかったことを調べたいという思いをもち、もう一度探検に行こうとしている。

(3) 本時の判断基準

十分満足できる状況	おおむね満足できる状況	支援を要する子どもへの手立て
地域で働く人々の工夫や願いをより深く知るために、 <u>グループの意見を取り入れながら</u> 探検の計画を立てることができる。	地域で働く人々の工夫や願いをより深く知るために、探検の計画を立てることができる。	もっと知りたいことやもっと聞きたいことが考えられない児童には、他のグループからもらった質問を参考に考えさせる。

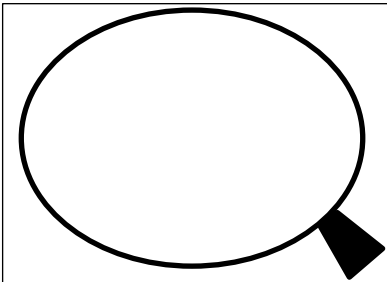
(4) 主体的に取り組む子どもの姿

観点	めざす子どもの姿	手立て
自己決定力	地域で働く人々の工夫や願いに関心をもち、自分がもっと知りたいことを見つけている。	・「なぜそれをもっと知りたいのか」を友だちに伝えることで自分の関心を明確にする。
他者とつながる力	友だちと見つけたことや感じたことを共有し合い、互いの考えをつなぎながら探検の計画を練り直そうとしている。	・グループで自分の気付きや感じたことを発表し合える場を設定する。

(5) 本時の学習過程

時	学習活動(○)と 予想される子どもの反意見(・)	指導上の留意点(○)と 教師の主な発問(「 」)	評価規準 (評価方法)
10	○前時の活動を振り返る。 見つけたもの ・ユニフォーム ・道具や機械 ・お店の人の数 など 分からないこと ・商品の工夫 ・安全の工夫 ・地域とのつながり ・とびっきりのひみつ	○同じ学年の人に発表するというこ とを伝え、意識させる。 「見つけたものは？」 「どんな質問？」 ○例示(教室)しながら気づいてい ない「ひみつ」への視点を伝える。	
10	○グループで	もっと知りたいことやもっと聞きたいことをみつけよう。	
	・他のグループからもらった「どうしてカード」 から、自分たちでは「分からないこと」を選ぶ ・前回の探検の写真を見て、不思議や疑問に 思うことなどの「ひみつ」を考える。	○「いつ・もの・人・こと」の視点で 質問を考えるよう助言する。 ○困っているグループには、他のグ ループの考えを紹介する。	
15	○全体で共有する。 保育所で作っ ている給食が おいしそう！ 松水苑のお風 呂はどうしてな くなったの？ どんな人たち がお店に来ま すか？ クレープの値 段はどうやって 決めるの？	○「商品の工夫、安全、つながり、 特性」の視点で分類する。	
10	○自分のインタビューの内容を決める。	○グループで重なりがないように、 「もっと知りたい」を相談しなが ら、一人ひとりの質問を決めるよ うに声掛けする。 ○ワークシートの進み具合によって 個々の練習をするよう伝える。	【主】分からないこと やもっと知りたいこと を調べに行きたいと いう思いを話しながら探検の計画を立て ている。(発言、行動 観察、ワークシート)

13. 板書計画

もっと知りたいことやもっと聞きたいことをみつけよう。		今までのふりかえり
しつもん		もっと知りたい！ 計画を立てよう！ まちたんけんに行こう！ お気に入りカード！ しょうかいし合おう！
ひみつ		

14. ご高評価欄